



国際ロータリー第 2790 地区第 5 グループ
2025-26 年度 第 33 回例会 (通算第 2723 回) 週報
2026 年 5 月 20 日 (水)

出席

会員 44 名 出席 30 名 欠席 14 名

出席率 73.17% (30/41)

修正前出席率 65.85%

修正後出席率 82.92%

欠席者【敬称略】

石井・大里・金見・叶川・小島・近藤・嶋津・四宮・鈴木(秀)・濱田・林田

メイクアップ【敬称略】

5/15 第 5 グループ親睦ゴルフ大会・懇親会

石田、佐藤、石井、鶴岡、藤田、渡邊(慎)、宮寺、加藤、吉田、倉島

5/17 千葉 RC 創立 75 周年記念式典

渡邊(慎)、堀内、松岡

5/20 現新クラブ協議会

吉田、倉島、石田、佐藤、鶴岡、遠山、阪中、宮寺、松岡、青木、内田(慎)、堀内、小林(千)、遠山、加藤、渡邊(元)、外崎、石東、江崎

5/14 成田空港南ロータリークラブ(卓話)

堀内

例会

■司会進行

加藤智生副 S.A.A.



◆点鐘

吉田和義会長

◆R ソング斉唱

「我等の生業」

◆四つのテスト

江崎勝博会員



会長 吉田和義
幹事 倉島和広
会報・IT 活用委員会委員長 阪中昌司
副委員長 大岩もえ

RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ
ガバナー 時田清次
ガバナー補佐 渡邊慎司

◆ゲスト・来訪ロータリアン紹介

吉田和義会長

○木更津総合高校インターアクト部

顧問 米本剛汰様
2年生 重田琉介様
潤間勇敦様

◆私の記念日祝い

吉田和義会長

大岩もえ会員(5/15)
金見由紀子会員(5/18)

◆会長挨拶・報告

吉田和義会長



皆さま、本日は5月第2例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。本日は木更津総合高校インターアクトクラブの皆さんにもご参加いただく予定となっております。到着次第ご紹介をさせていただきます。

まず、前回例会から本日までのクラブの動きですが、5月15日第5グループのゴルフコンペが開催されました。早朝より受付周りのお手伝いをしていただいた皆様、お疲れ様でございました。木更津ゴルフは2回目の訪問でしたが、初回は渡辺貞夫さんのジャズライブでありましていずれもプレーを目的とはしておりません。他にも、ゴルフ場の土地評価で敷地内に入ることがありますので、自分にとってはゴルフ場はゴルフ以外で訪問する場所となっております。

続きまして、新千葉新聞のご紹介です。当クラブメンバーに関係する新千葉新聞の記事が2回掲載されましたので、皆さまのお手元に配布させていただきました。5月14日の記事ではIMの懇親会でダンスを披露してくれたハニーズが世界大会で準優勝したこと、木更津市防災協会の定期総会のこと、5月19日の記事では、高蔵寺での人形供養が掲載されております。今回は私自身も人形を持ち込ませていただき、大変お世話になりました。

さて、今月の月間テーマは「青少年奉仕」です。そこで、本日は次のことに触れたいと思います。皆さまも報道でご存じの通り、北越高校男子ソフトテニス部の生徒たちが乗ったマイクロバスが、福島県の磐越自動車道で衝突事故を起こし、尊い高校生の命が失われ、多くの生徒が負傷するという痛ましい事故が起きました。この事故では、白ナンバーのレンタカーが使われていたこと、そして運転手の異常に子どもたち自身が

気づいていたとの報道がされています。顧問の先生は別の車で移動していたとのことで、結果として子どもたちだけが危険な状況に置かれてしまいました。もし運転免許を持った大人が1人でも同乗していれば、運転を止めさせ、事故を防げたのではないかと。そう思わずにはいられません。私たちロータリークラブは、木更津総合高校インターアクトクラブを提唱し、若い世代の成長を支える立場にあります。だからこそ、今回の事故を「他校の出来事」として片付けるわけにはいかないのではないでしょうか。今回の事故で命を落とされた高校生のご冥福を心よりお祈りするとともに、負傷された皆さまの一日も早い回復を願います。そして、二度と同じ悲劇を繰り返さないために、私たちができることを、これを機に改めて考えていきたいと思っております。

本日もどうぞよろしくお願いたします。

◆幹事報告

倉島和広幹事



1. 第11回定例理事会報告

出席者9名

<審議事項>

- 1) 2026年3月・4月分収支報告の件(資料添付)
→ 承認されました
- 2) 木更津東ロータリークラブ細則変更の件
→ 承認されました
- 3) 6月最終例会について(資料添付)
→ 承認されました

2. 幹事報告

- 1) 本日は例会後に現新クラブ協議会を開催いたします。今年度、次年度委員長の皆様ご出席をよろしくお願いたします。
- 2) ガバナー事務局より「コーディネーターニュース2026年6月号」が届いておりますので回覧いたします。
- 3) ガバナー事務局より「4月期のMCRレポート」が届いておりますので回覧いたします。

3. 他クラブからのお知らせ

- 1) 君津RCより「例会場が変更のお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。

4. その他のお知らせ

なし

5. 回覧

- ガバナー事務所より「コーディネーターニュース 2026年6月号」
- ガバナー事務所より「4月期のMCRレポート」
- 君津RCより「例会場が変更のお知らせ」

◆ニコニコボックス報告 親睦出席委員会 藤田洋行会員



○渡邊慎司ガバナー補佐

先日の第5グループゴルフコンペに参加及びお手伝いいただきありがとうございました。

○吉田和義会長

インターアクトクラブのみなさんのご来訪を歓迎いたします。

○倉島和広会員

インターアクトの皆さんようこそおいで下さいました。

○大岩もえ会員

きれいなお花が届きました。ありがとうございました。

○宮寺順子会員

5/16(土)人形感謝祭が天候にも恵まれ、無事終了する事ができました。たくさんの参加者がいらっしゃいました。おうちで眠っているお人形さんがいらっしゃいましたら、ぜひ来年お持ち下さい。心よりお待ちしております。

○石田享会員

本日は新しい例会場のセッティングに早い時間から集合していただき感謝いたします。7月1日の第1回例会からスムーズに進めるためにご意見をお願い申し上げます。

◆出席報告 親睦出席委員会 藤田洋行会員

◆第5グループゴルフ大会優勝者挨拶

渡邊慎司ガバナー補佐



■例会アワー 青少年奉仕委員会 内田慎一郎委員長



卓話:「インターアクトクラブの活動報告」
米本剛汰様



日頃より、インターアクト部が大変お世話になっています。

本日は、皆様の貴重なお時間を頂き、昨年度のインターアクト部の活動をご報告させていただきます。

まず初めに、自己紹介をさせていただきます。私は木更津総合高校インターアクト部2年の重田琉介・潤間勇敦です。

では、我々の活動報告をする前に、そもそもインターアクトとは何なのかをお話できればと思います。ロータリークラブのホームページによると、「インターアクトクラブでは、12~18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員（通称「インターアクター」）との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養う。ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超私の奉仕」を学び、行動力を身につける。」となっています。つまり、指導者講習会や年次大会、ライラといったイベントを通じて、同世代との人脈を広げながら社会で活躍するロータリーの皆さんの背中を見て、奉仕の意志を学び受け継ぐことが我々の務めです。

ここからは、私たち木更津総合高校のインターアクト部がどんな活動をしているのかご紹介いたします。我々インターアクト部は部内を3つの部署に分けて活動しています。1つ目は環境整備課、2つ目は地域開発課、3つは国際交流課です。

まずは地域開発課の活動です。地域開発課では文字通り、地域をより良くし、盛り上げるために活動しています。代表的な活動が、私たちの先輩たちが行った木更津市長へのプレゼンテーションです。「高校生はこんな開発を求めている」をテーマに、市長に提案し、実際に太田山の桜提灯がリニューアルされました。起案した先輩は現在看護学生として大学で頑張っています。他にも、木更津の3大イベントである「やっさいもっさい」「花火大会」「オーガニックシティフェスティバル」の1つである「やっさいもっさい」にも出場しています。今年のやっさいもっさいは、ロータリーの皆さんと出場できたらいいなと考えています。例年、私たちだけの人数では目立てないのが悩みですので、ご協力をお願いします。また、「オーガニックシティフェスティバル」にも毎年出店しています。太田山で集めた落ち葉を使って焼き芋を販売してデビューをし、昨年は木更津の海苔を使って磯辺焼きにも挑戦しました。応援しに来てくださった皆さん、ありがとうございました。そして、毎年、この売り上げを使ってクリスマスパーティーを主催し、お世話になった皆さんと交流する機会を設けています。このように、木更津市がさらに盛り上がるように活動しています。

次に、環境整備課の活動を紹介します。環境整備課では文字通り、清掃活動が主な活動です。ご覧の写真は、焼き芋用の落ち葉を拾いに行った時の写真です。次の写真は東京湾に唯一残る干潟（ひがた）とされる「ばんず干潟」の清掃時の

写真です。前回参加した際は、本校の理科部と一緒に参加し、干潟の重要視同級生に伝えました。次の写真は木更津市街を清掃した際の写真ですが、ここで問題です。

この人は誰でしょう？……ヒントは芸人です。

正解は、画家であり、ミュージシャンであり、お笑い芸人でもある「くっきー」です。

この方は「くっきー似のパパ」という名前で活動されています。ちなみに、本人公認で活動されているそうです。

次に、国際交流課の活動についてです。この写真は、地域の外国人と英会話を楽しんでいる写真です。また、数年前にはインターアクト部が学校の代表として、ベトナムのダナンに行きました。次の写真は君津市、木更津市、袖ヶ浦市、市原市の4市の外国人ママさんたちと児童養護施設で交流した様子です。次の写真は、昨年横浜で開催されたアフリカ開発会議に参加した様子です。アフリカで活動する様々なNGO,NPO団体を知ることができました。この経験をもとに、今年の2月に我々もアフリカのマラウイという国の紅茶やコーヒー木更津市の朝市で販売し、その売り上げの一部をマラウイの子供たちの給食費にするという活動を始めました。ここで問題です。

アフリカには、元ヨーロッパ諸国の植民地が数多くありますが、マラウイは次の3つのどの国の植民地だったでしょう。

- 1, スペイン
- 2, フランス
- 3, イギリス

1番だと思ふ人手を挙げてください。2番だと思ふ人手を挙げてください。3番だと思ふ人手を挙げてください。正解は3番のイギリスです。だからこそマラウイの紅茶やコーヒーは有名なのです。

これら3つの部署をピースを合わせて我々はインターアクトとして活動しています。また、部署として分けず、全員で参加するイベントもあります。その一つに昨年から木更津市の農林水産課が主催の次世代育成プログラムです。このプログラムでは市内の高校に通う高校生が対象で、久ルックフィールズを舞台に農を学び、収穫し、商品開発をして販売するまでを1年かけて行うものです。去年は私たちの先輩が参加し、今年は私たち2年生と1年生が参加しています。その他にも、初めて自分で帯を巻き、浴衣着るだけでなく、それをショーとして発表し、自分たちのルーツである日本文化を発信する活動も始めました。

私たちの活動は木更津市内の活動が多いですが、地域だけではなく、自分たちの将来を見据えて大学との活動も増やしてきています。去年は、神田外語大学の学生と共に市原にあ

るみどり産業のCSRレポートを作成したり、東京大学の柏キャンパスでスマート農業を見学したりもしました。そして、米本は今年には城西国際大学との活動も増やそうとひそかに事を進めているようです。

最後に、今後の活動のお知らせをして、終わりにしたいと思います。

昨年も出店していたのですが、去年は大赤字だったのでご紹介しませんでした。今年も6月21日(日)に開催されるオーガニックマルシェに出店しようと考えています。落ち葉や枯れ木を拾って、焼きマッシュマロの食べ放題を企画しておりますので、ぜひお子様やお孫さんと一緒にお越しください。また、活動報告の中でもお話ししましたが、今年はインターアクトとしてではなく、BIG&Rとしてやっさいもっさいに出たいと考えています。皆様のご協力をお願いします。その他にも、朝市などで出店を考えておりますので、出店日等はスクリーンのインスタグラムでお知らせをしますので、見逃さないようにフォローをお願いします。

以上で、木更津総合高校インターアクト部の活動報告を終わりにします。ありがとうございました。



卓話スライド



自己紹介

2年生 重田 琉介 (しげた りゅうすけ)

2年生 潤間 勇敦 (うるま ゆうと)



インターアクトとは？





今後の活動のお知らせ

- ・ 6月21日(日) オーガニックマルシェ @君津文化ホール
- ・ 8月14日(金) やっさいもっさい
- ・ 未定 朝市 @木更津市民会館



今後ともよろしくお願いたします。

大学との  取り組み強化

令和8年5月20日

インターアクト部 活動報告

インターアクトクラブとは

インターアクトクラブでは、12～18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員（通称「インターアクター」）との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養う。[ロータリークラブ](#)の支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超我の奉仕」を学び、行動力を身につける。千葉県には13校にインターアクトクラブが設置されている。



「超我の奉仕」とは

「超我の奉仕 (Service Above Self)」とは、ロータリーの基本となる考え方で、「自分のことよりも、まず相手や社会のために行動する」という意味があります。自分だけの利益を考えるのではなく、周りの人や地域、世界のために役立つ活動を大切にしています。インターアクトクラブも、この考えをもとにボランティア活動や地域貢献活動を行っています。

「RYLA」とは

RYLA(ライラ)とは、「Rotary Youth Leadership Awards」の略で、ロータリーが主催する青少年向けのリーダーシップ研修プログラムです。高校生や大学生などの若者が参加し、グループワークや体験活動を通して、リーダーシップや協調性、コミュニケーション能力を学びます。他校や異なる地域の生徒と交流できることも大きな特徴です。

きみつオーガニックマルシェの概要

きみつオーガニックマルシェは、千葉県君津市で開催されているイベントで、オーガニック食品や地元農産物、環境に配慮した商品などが販売されています。地域の生産者と消費者をつなぐ場となっており、食や環境について考えるきっかけづくりにもなっています。子どもから大人まで楽しめる地域交流イベントとして親しまれています。6月21日(日)開催



盤洲干潟とは

盤洲干潟(ばんずひがた)は、木更津市に広がる東京湾最大級の干潟です。多くの生き物が暮らしており、水をきれいにする役割も持っています。また、渡り鳥の休息地としても知られ、自然環境を守るうえでとても大切な場所です。環境保全活動や清掃活動の場としても活用されています。

NPO 法人せいぼについて

NPO 法人せいぼは、アフリカのマラウイを中心に、教育支援や給食支援などを行っている団体です。学校給食の提供を通して、子どもたちが安心して学校へ通える環境づくりを進めています。また、日本国内でも講演活動やイベントを行い、国際協力について広く発信しています。

マラウイの概要

マラウイはアフリカ南東部にある国で、「アフリカの温かい心」と呼ばれるほど、人々が温かく親しみやすい国として知られています。一方で、貧困や食料不足、教育環境などの課題もあります。主な産業は農業で、多くの人が農業に関わって生活しています。

CSR レポートとは

CSR レポートとは、企業が行っている社会貢献活動や環境への取り組みをまとめた報告書のことです。CSR は「Corporate Social Responsibility」の略で、日本語では「企業の社会的責任」と訳されます。企業が利益だけでなく、環境や地域社会、人との関わりを大切にしているかを知ることができます。

スマート農業とは

スマート農業とは、AI や IoT、ドローンなどの最新技術を活用した新しい農業の形です。機械やデータを活用することで、作業の効率化や人手不足の解消につながります。また、環境への負担を減らしながら安定した生産を目指す取り組みとして注目されています。

商工会館例会風景



◆点鐘

吉田和義会長

例会日：毎週水曜日 PM12:30～1:30

例会場：オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111

事務局：木更津市朝日1丁目2-29 シグママンション朝日B棟105号

TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

木更津東ロータリークラブ事務局メールアドレス

eastkisarazu-rc@nifty.com